



陽の木かげ・そよかぜだより



梅雨入りや台風の影響でジメジメした日が続いています。まだ朝晩は肌寒く感じられることが多く、気温や湿度の変化により体調も崩しやすくなっています。お子様の体調の変化に気を配りながら、健康管理に努めましょう。また、全国的にインフルエンザやRSウイルスなどの感染症が流行しています。手洗い、うがい、室内換気等の感染予防をしながら週末はゆっくり休んで一週間の疲れをリセットして下さいね♪



夏が近づくと虫たちが活発になってきます。子どもたちは体温が高く虫に刺されやすいです。夢中になって遊んでいる時や、ぐっすり眠っているうちに、虫に刺されて赤く腫れてびっくり！なんてことも・・・痒みは我慢することが難しいです。かきむしって傷になると、そこからとびひになってしまうことも。虫除け対策をしながらお子様の皮膚を守ってあげてくださいね。ひどいときは早めに小児科、皮膚科に相談しましょう。



とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。



患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。ガーゼなどで覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は医療機関に相談し、内服の抗生物質を処方してもらいます。子どもの間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。虫刺されやすすり傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法となります。

5月20日～6月16日までに病児保育「陽の木かげ」でお預かりした病名と多かった年齢

多かった病名…ヘルパンギーナ・咽頭炎・RSウイルス感染症

多かった年齢…1歳・3歳・0歳の順に多かったです。

ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症のお預かりが非常に多かったです。新型コロナウイルスが5類に移行後、子どものかぜが急増しており、夏風邪の1つヘルパンギーナ、RSウイルスはそれぞれに移行前の5倍、2倍にも増えているそうです。要因としてコロナ感染症の予防の徹底で様々な病気がコロナ禍中は抑えられ、免疫が低下した影響といわれています。睡眠をしっかりと、栄養のあるものをバランスよく食べましょう。

腸内環境を整えることも免疫力アップにつながります。ヨーグルトや納豆、みそなどの発酵食品がおすすめですよ～♪



今年の4月以降全国各地に麻疹(はしか)患者の感染が確認され、感染者が増加しているそうです。はしかは感染力が極めて高く、空気感染するので手洗いやマスクだけでは予防できない感染症です。予防接種が最も効果的な予防策です。当施設では麻疹のお子様はお預かりできません。麻疹、MRワクチンの未接種のお子様はお預かりできないことがありますので、いまいちど接種歴をご確認ください。また、今年度の登録時未接種だった方で接種済みの方は、ネット登録の変更、紙登録のみの方はご連絡ください。



熱、咳、鼻水などの症状が始め、数日後、首筋・顔から赤い発疹、口の中に白い発疹が出てから、再発熱で38～39℃台まで上がり、発疹は全身に広がります。全身症状が強く、かかるととても辛い病気です。また、肺炎、中耳炎、結膜炎、熱性けいれん、脳炎などの重い合併症を起こすことがあり、とてもうつりやすく、免疫がない大人にもかかるので注意が必要です。



はしかにかかってしまったら

感染力の強い病気なので、解熱後3日を過ぎるまでは登園停止となります。体力が消耗しないようにできるだけ眠れる環境を整え、加湿器などで湿度を保ちましょう。熱が高い時は氷枕や保冷枕などで体温を下げるようにします。食欲が落ちていることが多いので、無理に食べさせることはせず、水分を十分に与えましょう。水分がとれず、嘔吐や下痢がひどい時は、脱水症状を起こしているかもしれないので、早めに受診する必要があります。

